

学力調査の結果（中学校）

平均正答率

教科	国語	数学	理科
藤井寺市	66	49	46
大阪府	67.2	50.7	46.6
全国	69.0	51.4	49.3

※平成29年度から市の表示は整数

※R2は新型コロナウイルス感染症の影響のため中止。
※H30以前は、国語、数学のA問題、B問題の平均値で表示

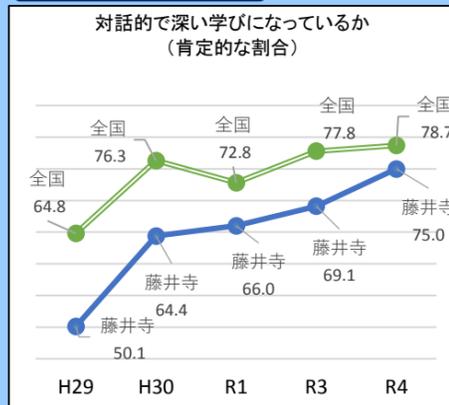
全体的な傾向

- ◆平均正答率は、国語・数学・理科において、全国・府平均を下回っている。
- ◆国語・数学・理科において、前年度の全国・大阪府との差は改善傾向にある。
- ◆家庭学習を全くしない生徒は急増し、ゲームの時間は、高止まりしている。学校が楽しいは減少傾向である。
- ◆自己肯定感・朝食の喫食率は改善し、ICTの活用については、全国を大きく上回っている。

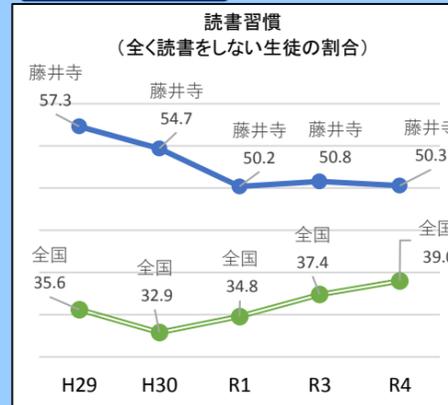
生徒質問紙調査の結果（中学校）

※「ICT活用」は、R1からの調査項目
※「ゲーム時間」は、H30・R1の調査項目なし

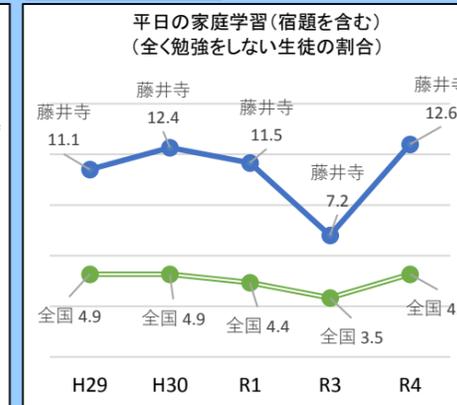
話し合い活動



読書習慣

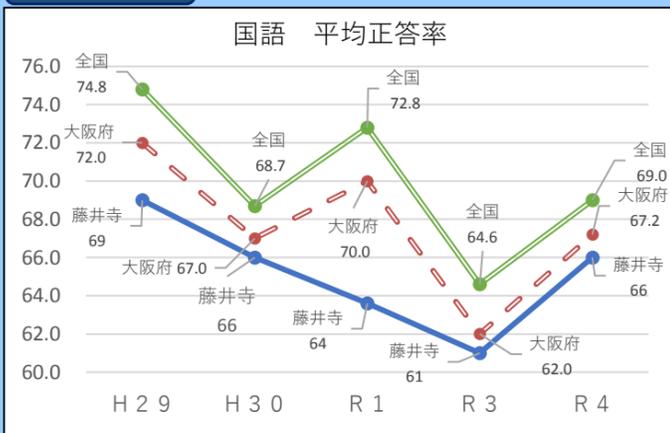


家庭学習

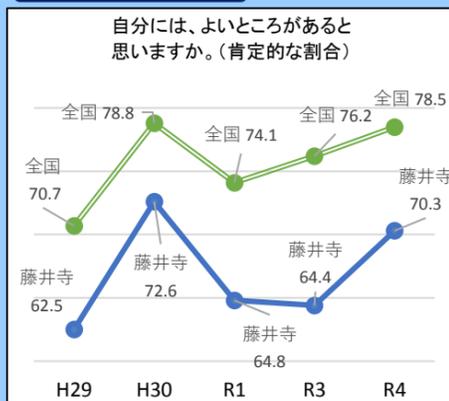


「全体の平均正答率」と「対全国との割合比較」

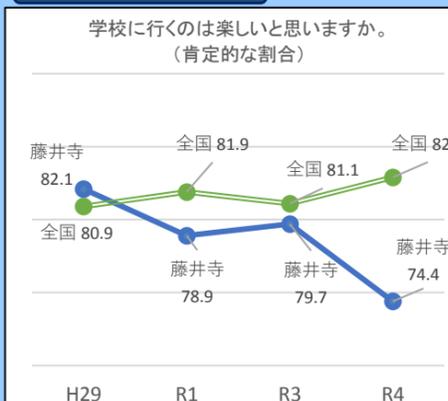
国語



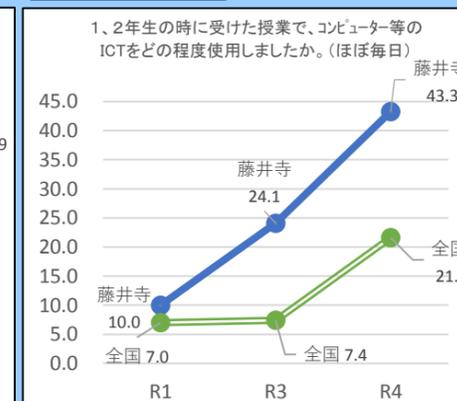
自己肯定感



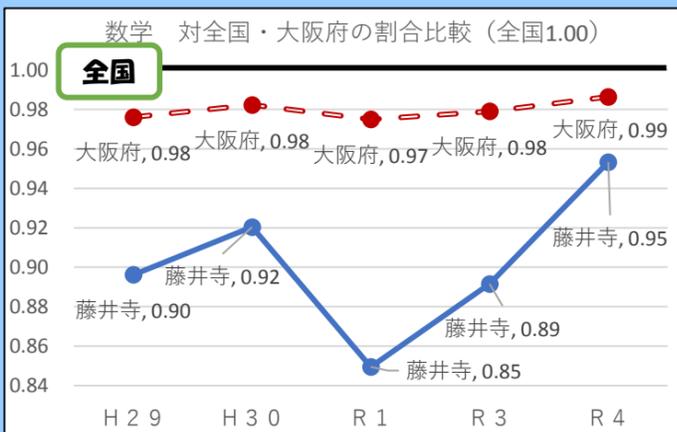
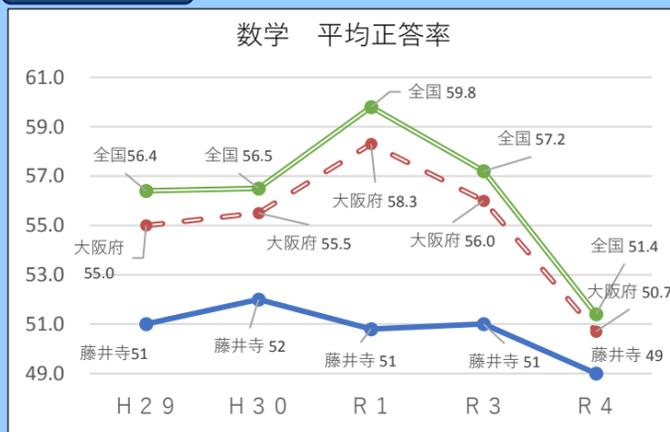
学校が楽しい



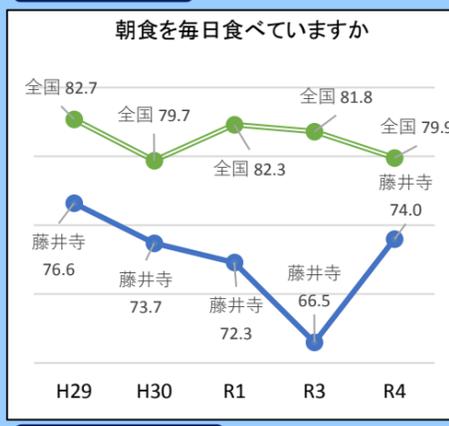
ICT活用



数学



朝食



今年度の結果分析と取り組みについて

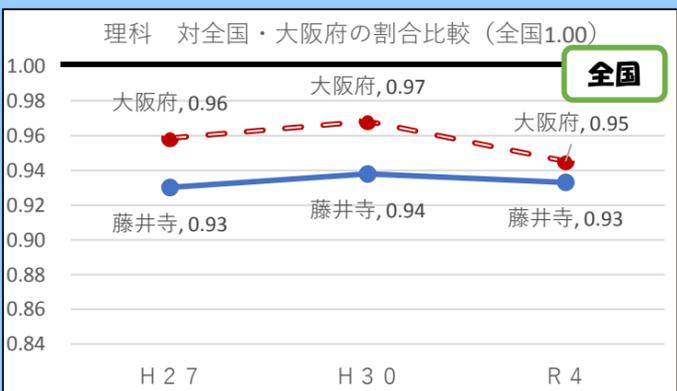
国語、数学、理科の平均正答率は、全国・大阪府を下回っています。4年ぶりに実施された理科は、全国・大阪府と同様に下降しています。全国を1としたときの対全国・大阪府の割合比較は、国語、数学において、昨年度より改善傾向にあり、府の平均正答率への到達に徐々に近づいてきております。全国と比較しても低かった理科は、小学校と同様に課題があります。

今年度、理科をテーマに研究授業をしている学校もあり、授業改善に努めておりますが、市主催教員研修として、理科の授業づくり研修を企画していく必要があると考えております。

更に、質問紙調査においては、近年課題であった「対話的な学習」、「自己肯定感」、「朝食を毎日食べる」は、改善傾向にあります。さらに、「ICTの活用」については、全国を大きく上回っており、使ってみようから効果的な活用方法の充実に向けた取り組みが必要だと考えています。しかし、「平日に家庭学習を全くしない」生徒の割合が急増し、「平日にゲームを4時間以上する」生徒も高止まりしております。家庭学習については、休日においても同様の傾向があり、宿題の提示方法や自らが課題を設定し、情報収集や分析をするような探究的な課題を提示することも必要だと考えています。更に、「学校が楽しい」と感じる生徒の割合も減少傾向にあります。

今年度の取り組みとしては、市内2中学校を「ICT活用」、「学力」の大阪府モデル校として推進しております。モデル校事業は、学力向上だけでなく、教員の授業改善にも大きく寄与しており、好事例を市内各校へ公開しております。

理科



ゲーム時間

